

世界平和祈願法要

第63回薬師寺まほろば塾・奈良塾

令和8年6月21日(日)開催



落語家

林家たい平

落語には人の死がたくさん出てきます。人の死ばかり話して、とお叱りを受けることがあります。そんなことはないと思います。人は二度死にます。1度目は天に召される時、2度目は人から忘れ去られることです。僕たちは2度目の方が怖い。僕たちがお世話になった師匠の方の話をすることでお客さんに忘れないでいてもらえます。それが

1964年、埼玉県生まれ。本名・田鹿明(たじか・あきら)。武蔵野美術大を卒業後、88年に林家こん平さん入門。92年に二ツ目、2000年に真打ち昇進。06年から日本テレビ系「笑点」にレギュラー出演している。落語協会理事。

石巻の出会い、噺家の種

亡くなった先人にできる恩返しと考えています。大学4年の春休みに宮城県石巻市の高齢者施設で落語を演じました。その時、施設を利用するおばあちゃんが出囃子を弾こうと三味線を練習してくれたそうです。「君のおかげでおばあちゃんに初めて本当の笑顔を見せてくれた」と聞き、家になると誓いました。修業中に逃げ出したいと思った時はいつも、おばあちゃんからもらった500円玉を手に入れました。今も大切な宝物です。

言霊宿る心に残る

対談

古典落語を披露

講演後、たい平さんは小学校の国語の教科書に載ったことがある古典落語「ぞろぞろ」を披露した。廃れた店に稲荷神社の御利益で奇跡が起き、それを羨んだ近所の床屋の主人も神社に参詣するが……という滑稽噺。たい平さんは「嫉妬心ってあまり良くないというのがテーマ」と話した。

大谷 私も(東日本大震災まで)石巻にご縁がなかった。(市中心部にある高台の)日和山から見た被災地はとうでした。

たい平 言葉にならなかったですね。「ここで自分ができるんだろ」と思いました。

大谷 落語をやっている場合じゃない。

たい平 すぐにそう思いました。唯一できたのは、J-R石巻で人の話を聞くことだけ。でも行けば必ず被災地に自分の役割があるとも思いました。大谷 言葉で失敗したことはありますか。

たい平 数限りなくあります。だから言葉を発する前に一度、深呼吸をすることを心がけています。あと、言葉には必ず言葉があると思っています。

大谷 「年をとった」と言う人は、ほとんど年をとっていきくんです。たい平 自分の言葉も相手の言葉も耳以上に全身の細胞が聞いてますからね。マイナスイ言葉は口にしらないようにしています。

大谷 今は本当に言葉の表現が難しい。たい平 僕はここに集まった人と創り出して、その場で聞いてなくなるというの言葉の力であり、良さであるとも思います。

大谷 言葉は消えても、人の心には良いものが残っていますからね。

*会員募集

「薬師寺まほろば塾推進の会」は会員を募集している。年会費(1口)は個人6000円、法人30万円。会員には薬師寺や各地で開かれるまほろば塾への優先申し込み、原則無料参加など、法人会員は研修・記念行事への講師派遣、薬師寺での旅行や研修の支援といった特典がある。

*次回は「山梨塾」

11月28日午後1時から、甲府市の山梨県地場産業センター「かいてらす」で山梨塾を開催する。大谷塾長の法話に続き、日本総合研究所会長で多摩大学長の寺島実郎さんが講演する。参加費3000円(推進の会会員は無料)。

*月例奈良まほろば塾、定例東京塾

大谷塾長が法話を行い、ゲスト講師による講演と対談もある。参加費は奈良1000円、東京2000円(推進の会会員はいずれも無料)。午後1時開講。日程、講師は次の通り。

◇奈良▽8月16日＝北海道医療大教授・高上馬希重(こうじょうままれしげ)さん▽9月20日＝北見工業大准教授・陽川憲さん
◇東京▽9月29日＝一鶴(いかるが)工舎総棟梁(とうりょう)・小川三夫さん

*出張講演

薬師寺まほろば塾は、東京、大阪、神戸、和歌山で「法話とお写経の会」を開催して

いる。大谷塾長による法話を聞いた後、写経をする。参加費は4000円(推進の会会員は納経料のみ2000円)。

日程は次の通り。受け付け開始は午後1時(和歌山は午後1時10分)。

【東京】フロントプレイス日本橋10階(東京都中央区)▽8月28日、10月13日、12月15日 【大阪】読売大阪ビル地下1階「ギャラリーよみうり」(大阪市北区)▽10月20日、12月7日 【神戸】よみうり神戸ホール(神戸市中央区)▽9月15日、12月4日 【和歌山】和歌山県民文化会館(和歌山市)▽8月10日、11月6日

◇

推進の会、まほろば塾の問い合わせは事務局(0742・33・8942)。

塾長

大谷徹英

私たちの人生には縦軸と横軸があります。縦軸は人生を貫く覚悟を指し、「覚悟軸」とも言えるでしょう。覚悟がないと軸が横に引つ張られ、命をどう使うのかわからないのです。どれだけ深い覚悟、太い縦軸を持てるかが勝負です。それを念頭に置いて、お釈迦様の教え「法句経」の一部を学んでいきましょう。「如来はただ道を説き示すものである。お前達は自らその道にいそしみ励まなければならぬのだ」お釈迦様が「こっちは幸せで、こっちは不幸だ」と道を教えてくれたとしても、私たちは自分で立ち上がって動き、幸せへの扉を開けるしかない。実践しなければ意味がないのです。人生をわかりやすく図式化してみます。傾いた一本の線の上に、円を描きます。坂道

覚悟磨けば 幸せひらく



1963年、東京都生まれ。17歳で薬師寺に入山し、高田好胤(こういん)和上に師事。龍谷大大学院修了。2025年10月から副住職、まほろば塾塾長。著書に「よっぽどの縁ですね」など多数。

の途中にあるボールです。気合を入れてボールを上げようという覚悟がないと、どんどん下に落ちてしまう。心のボールを常に押す、つまり覚悟を常に磨くことが大切です。教えはこう続きます。「この道をふみ行つてこの思惟者は誘惑者たる魔の束縛をのがれる」言い換えれば、与えられた役目を喜んで務める、ということになります。やるべきことを

つまり考え、自覚し、コツコツと行いを積み重ねることが幸せの条件になる。そうして覚悟を大きくすれば、横に多少引つ張られても揺れない自分を作れます。今、若い人たちは朝から夜までスマートフォンを見て論議のわからない情報に流されてしまふ。よそ見をしていると、あつという間に年をとりますよ。皆さんにしっかりと自分の道を歩いてほしいと願っています。



法要 世界の平和祈る

冒頭、紛争の続く世界の平和を祈願する法要が営まれた。文化勲章受章者の日本画家、田淵俊夫さんが描いた本尊の仏画「阿彌陀三尊浄土図」を中心に14面の大壁画(全長約50枚)で囲まれた食堂内に、導師の生駒基達管主ら僧侶5人の唱える声明が響いた。法要後、生駒管主は「一番大事なものは人の命。それぞれの国や人々が協力して暮らすことができれば素晴らしい」と参加者に語りかけた。

薬師寺まほろば塾に協賛しています(順不同)

〈近畿〉
岩谷産業
サントリーホールディングス
近鉄百貨店
パナソニックホールディングス
大阪シティ信用金庫
ロート製薬
岩谷瓦斯
キンセイマテック
新コスモス電機
イットアップホールディングス
ワコールホールディングス
今日庵

小山
佐藤木材
〈中部〉
トヨタ自動車
東海旅客鉄道
東海理研
〈関東〉
ウェルリンク
ヒノキ新薬
エヌエスティ・グローバリスト
遠州茶道宗家
クオールホールディングス
セントラル石油瓦斯

サティスファクトリー
ネクストソリューションズ
近畿日本ツーリスト
クラブツーリズム
小学館
山田合同事務所
〈九州〉
はせがわ
〈中国〉
合人社グループ
ダスキン福山
〈東北〉
熊谷電気
岡山建設

奈良支局・吉田清均、栢野ななせ、写真部・三木皓太、編成部・才川優花、デザイン・伊藤壮一郎が担当しました。